

家も僕の心の中もモヤモヤだった

クラスは、A、A、C、Aである。
ひさしぶりに、教室に入る。

兄貴から手に入れたユーモア英作文の本を
広げて、皆で、ゲラゲラ。

おでこが広くて、毛の薄いピカさんが
教室に入って来た。

卒業式の写真の見本を持って来た。

我ながら、僕は渋い顔してると思った。
しかし、なにか、きつくて、殺し屋みたい。

今日は校長の交代式。

別に、感激するほどのものはない厳粛な儀式。

去年の暮れだったか、うわさで聞いた話を思い出した。

体の弱かった生徒がいて、
もう直らないのを苦にしたのか、
受験の苦しみもあったのか、

?

それを思い出した。

あの日、校長は朝から晩までチャペルにこもった。